

今年は市内の小学生7名がこども広報委員として活動したよ。
こどもたちの目にボランティアや地域の活動はどう見たのかな？

7/31（金） 事前説明会

はじめに豊中市社会福祉協議会について知ろう！



福祉とは、
ふだんの 暮らしの
しあわせ のことを
言うんだよ。



豊中市社協は
「ひとりぽっちをつくらない」
「支えられていた人が支え手になる」
「すべての人に居場所と役割を」
ということを大切にして活動して
いるんだね。



さっそくボランティアや地域の活動を見てみよう！

7/31 (金) 福祉お針箱



お針箱では、手芸が好きな人が集まって、依頼を受けて服のサイズ直しや裾直しをしたり、最近ではわんわんパトロールのバッグや缶バッヂを作ったりしているよ。

5年間活動している人や2ヶ月前に始めた人もいていろんな人と楽しく話をしながらできるところがいいって聞いたよ。



ボランティアさんに教えてもらって、フェルトの小物を作ったよ！

8/4（火） 豊中あぐり



定年後の男性の居場所として、畑で野菜を作って朝市や移動販売で売ったり、子ども食堂や生活に困っている人たちへ届けたりしているよ。

あぐりのいいところをたくさん聞いたよ！

- ・ 定年後の交流の場所となっている
- ・ いろんな人と話せる
- ・ 野菜がうまくできて、買ってもらえたらうれしい
- ・ 自然とふれあえる



街中でバナナも育てているんだって！



10年前に始まったあぐりは、今では市内に10ヶ所の畑があるんだね。

8/7（金） ぐんぐん元気塾（庄内西）



高齢者の方が毎週集まって
体操をしているよ。長い人
は7年も続けているんだっ
て。



運動をすると元気で健康に
なれるし、人との関わりが
広がるのいいところだ
ね。



10/10（土）活動発表（ボランティアフェスティバル）

場所：豊中市立文化芸術センター アクア文化ホール



大勢の人の前で緊張したけど、ボランティアフェスティバルで地域の福祉活動の魅力を発表したよ。

みんなの感想（原文のまま掲載）



こんなボランティアがあるなんてしらなかった。
わたしもせいかつについてかんがえてみようとおもった。

自分の好きなことや得意なことを楽しく健康に活動をしている。どんな人でも平等に関われるていることがいいなと思った。何より楽しかった。

ちがう人とであえて（思ってたかった人）うれしい。

お母さんも年をとったらこのような活動をしたいと言っていた。

お年寄りの人のための活動の数や種類がこんなにあるなんてしらなかった。
すごくべんきょうになった。